

提言 市民全体に「自助」の意識を育む防災の取組について

近年の自然災害の激甚化・頻発化に対応するためには、より多くの市民が「自助」の意識を高めることが極めて重要である。

このため、これまで防災訓練に参加する機会が少なかった若者や家族連れなども参加しやすいように、多くの市民が関心を持てるイベント性を取り入れた、楽しみながら学べる防災訓練や、子どもの頃から「自助」の意識を育む観点から、小学生が防災について学ぶきっかけづくりについて、防災士との協力や関係部署との連携を検討するなど、市民全体の防災意識の向上により一層取り組まれない。

提言に関連する市の取組内容

(1) R 8 年度の取組内容

市民全体に「自助」の意識を育むため、地域の防災士をはじめ、自主防災組織や防災関係機関をはじめとした各種団体と緊密な連携を図りながら、防災意識の向上につながる取り組みを進めており、特にこれまで防災訓練に参加する機会が少なかった若者や家族連れが、楽しみながら防災を学ぶ「きっかけづくり」となるよう、イベント性や体験要素を多く取り入れた取り組みを実施・予定しています。

① 舞鶴市消防団消防操法大会での防災啓発（6月28日実施）

会場を「青葉山ろく公園」に移して開催したことにより、地域の子どもや少年消防クラブ員、多くの家族連れが見学に訪れる機会を捉え、防災士や舞鶴工業高等専門学校、民間企業と連携した「防災展示・啓発ブース」を設置し、防災への関心を高める周知活動を実施しました。

② 防災フェスでの体験型学習（9月26日予定）

「西プラ775防災フェス」（主催：一般社団法人有本積善社、後援：舞鶴市）において、高校生ボランティア等の協力を得て、主に子どもたちを対象とした防災に関する「かるた」や「ボードゲーム」といった体験コーナーを設置し、楽しみながら日頃の備えについて学ぶ機会を提供し、学びを家庭に持ち帰ることで、各家庭における「自助」の意識向上（子どもから家族への波及）につなげてまいります。

(2) 今後の見込み・市の考え方

近年激甚化・頻発化する自然災害に対応するには、市民一人ひとりの「自助」への意識の向上と、地域における「共助」の取り組みが不可欠であると考えております。

これまで防災訓練に参加する機会が少なかった若い世代や家族連れに関心を持ってもらえるよう、引き続き、防災士や自主防災組織、関係団体と連携し、イベント性や体験要素を取り入れた参加しやすい取り組みをより一層推進し、地域防災力の着実な底上げを図ってまいります。

担当課

総務部 危機管理室 危機管理・防災課